

1/3

平成29年度土木学会技術開発賞応募調書

No.

平成 年 月 日 提出

受付平成 年 月 日

推 薦 者	氏 名				⑩	会員種別 該当を○で 囲む	個人 法人 特別 非会員	
	団体名・役職							
	住 所	〒				電話番号		
選考対象となる 技術開発件名								
選 考 対 象 者 名	会員番号	氏 <small>(ふりがな)</small> 名	勤務先・役職	所 在 地	電話番号	年令		
				〒				
				〒				
				〒				
				〒				
実 績 の 概 要	1	事業主体		実施者名				
		事業件名						
		実施場所						
		実施時期	年 月		～	年 月		
	2	事業主体		実施者名				
		事業件名						
		実施場所						
		実施時期	年 月		～	年 月		
	3	事業主体		実施者名				
		事業件名						
		実施場所						
		実施時期	年 月		～	年 月		
添付資料名								
連絡者氏名 メールアドレス等		氏名：	電話：	Eメール：	FAX：			

業績要旨

[開発背景]

[独創性（新規性）]

[経済性]

[汎用性]

平成 年 月 日 提出

受付平成 年 月 日

業績要旨(続き)

[安全性]

推薦理由各選考対象者の果たした役割(選考対象者が複数の場合)特許あるいは実用新案の申請状況等について

当該技術に関して特許あるいは実用新案を申請している場合、また、使用した他の特許等がある場合は、その総数及び代表的なもの5件(総数が5件以内の場合は全数)について、下表の各項目を次に従って記入して下さい。なお、代表的なもの5件については、公報(出願内容の公示または権利として発生した内容の公示)の下表各項目が記載されている頁を添付して下さい(公開前の場合は添付不要)。

① 区分：申請しているもの場合は、「申」、使用した他のもの場合は「使」と記入。

② 種別：特許は「特」、実用新案は「実」と記入。

③ 申請状況：次のアルファベットを記入。

出願中(公開前)：a、出願中(公開後)：b、審査請求中：c、出願公告中：d、特許登録済：e

④ 発明者(申請の場合)：発明者のうち、選考対象者に下線を引く。

申請しているもの			特許： 件		実用新案： 件		使用した他のもの		特許： 件		実用新案： 件	
区分	種別	出願日	出願番号	特許番号	申請状況	発明名称		発明者(申請の場合) 出願者(使用の場合)				

注 意 書 き

1. 技術開発賞候補の応募調書の記載に当たっては、募集要項および表彰規程を確認してください。提出後の応募調書の訂正は認めません。
2. 応募調書は、1/3、2/3、3/3の3頁です。
3. 応募調書は黒で明瞭に記載してください（鉛筆は不可）。
4. 推薦者は、すべて個人名とし、法人会員、特別会員、海外分会、土木事業に関連する学・協会としおよび海外協力協定学協会についてはそれぞれを代表する者あるいは土木学会長の認める者とする。
5. 技術開発件名は、以下の点に注意してください。
 - ①具体的な技術内容を表現したタイトルとしてください。
 - ②商品名や工法名を記載する場合は括弧内に明記してください。
サンプル：○○○○流動化コンクリート（△△△コンクリート）の開発
 - ③技術開発件名に略称名（商品名・工法名を除く）を用いる場合は括弧内に正式名称を明記してください。
サンプル：□□□施工技術（○○○○に関する施工技術）の開発
6. 実績は、実際に供用される完成した構造物に適用されている等、社会に貢献していると認められるものとし、これ以外の試験施工等の技術検証は実績として認めません。以下に実績となるものの例を示します。

計画・設計・施工等の建設技術の実績例：実際に供用される完成した構造物の建設や補修補強等に当該技術が適用され、機能向上・改善、コスト縮減や環境改善等の効果が発揮された事例

検査・点検等の維持管理技術の実績例：実際に供用されている完成した構造物の点検業務における検査手法として当該技術が位置づけられ、その点検結果を活用して維持管理業務の省力化や信頼性向上等の改善効果が発揮されている事例

情報技術・マネジメント技術の実績例：実際の土木関係業務において当該技術が導入され、業務の効率化・高精度化等の改善効果が発揮されている事例
7. 業績要旨および推薦理由は、簡潔・明瞭に記載してください。
8. 業績要旨の[独創性（新規性）]には、類似技術との違いを記述してください。
9. 業績要旨および推薦理由の記載には、図表、写真を使用しないでください。
10. 応募にあたっては、応募技術が他者の知的財産権を侵害しないことを、事前にご確認ください。
11. 添付資料は、当該業績を説明するのに必要な資料（論文集・技術雑誌等に公表されたもの）とします。なお、コピーを添付する際には、著作権の侵害に当たらないことを事前にご確認ください。また、添付資料名の欄には技術概要書は記載しないでください。
12. 特許あるいは実用新案の公報の添付は、登録済の場合は「特許公報・実用新案公報」を、未登録の場合は「公開特許公報・公開実用新案公報」を添付してください。添付する頁は一般的にはフロントページとなりますが、発明者等が「最終頁に続く」とされている場合には最終頁も添付してください。その他の頁は添付しないでください。
13. 内容説明会を平成30年2月20日（火）に開催いたします。場合によっては19日（月）にも開催することがあります。発表日および発表時間の希望はお受けできません。
14. 内容説明会の連絡および技術的な内容についてお問い合わせいたしますので、選考対象者のうちの1名を連絡者とし、Eメールアドレス等を必ず記載してください。
15. 提出期限 平成30年1月19日（金）（必着）
16. 提出先 〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目（外濠公園内） 土木学会技術開発賞選考委員会

以上

平成29年度 土木学会技術開発賞

「技術概要書」

○下記の書式に従って、提出願います。

①体 裁：A3判(横長)

②頁 数：4頁 以内

③記述内容：候補技術の特徴や実用化の状況等を把握できる内容とし、概ね、下記の項目を適宜記述するものとする。

～開発の背景、候補技術の具体的な内容、候補技術の既存技術・類似技術等との違い、開発の経緯、開発の効果、施工実績 等～

④ 問合せ先：公益社団法人土木学会「技術開発賞選考委員会」担当事務局総務課
TEL (03) 3355-3442

…見本…

平成29年度 土木学会技術開発賞候補「技術概要書」

技術開発件名：

1. 開発の背景

2. 候補技術の概要

3. 開発の経緯

4. 開発の効果

5. 施工実績（開発の効果を現場で確認している場合はその内容も記述してください。
なお、4. 開発の効果に記述しても構いません）

土木学会各賞受付 通知

下記について、確かに受領いたしました。

____年 ____月 ____日

公益社団法人土木学会事務局

担当：_____

TEL：03-3355-3442 E-mail:office@jsce.or.jp

記

※応募者・推薦者側でご記入ください

1. 電子メールアドレス：_____

2. 宛先：_____

3. 賞の種類（該当するものに○をして下さい）

功績賞 技術賞Ⅰグループ° 技術賞Ⅱグループ° 環境賞Ⅰグループ° 環境賞Ⅱグループ°

論文賞・論文奨励賞 吉田賞 田中賞 技術開発賞 出版文化賞

国際貢献賞・国際活動奨励賞 技術功労賞

4. 候補件名・論文主題等